

わくわく無限大！
個性いろいろ
ともに創る
驚きの未来。

2027年2月期第1四半期決算 (補足説明資料)

2026年7月14日

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
[東証プライム 証券コード3387]

目次

【Ⅰ】業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]
2. 業績の概要(カテゴリー別)

【Ⅱ】トピックス

1. M&Aについて①②
2. SFPホールディングス社との合併について
3. サステナビリティへの取り組み

【Ⅲ】2027年2月期業績予想及び株主還元策

1. 2027年2月期通期業績予想の概要
2. 株主還元策

【Ⅳ】Appendix

1. 出退店及び店舗数について
2. 既存店前年比の推移

(注) 本資料における各カテゴリーに含まれるグループ事業会社

✓CRカテゴリー

(株)クリエイト・レストランツ(CR)、(株)クリエイト・ダイニング(CD)

✓専門ブランドカテゴリー

(株)グルメブランズカンパニー(GBC)、(株)KRフードサービス(KR)、(株)遊鶴(YZ)、
(株)いっちょう(IC)、(株)サンジェルマン(SG)、(株)レフボン(LB)、(株)クリエイト・ヌードルズ(CN)、
(株)Tecona Bagel(TB)、(株)ロン(RON)

✓居酒屋(旧SFP)カテゴリー

SFPホールディングス(株)(SFPHD)、SFPダイニング(株)(SFPD)、(株)ジョー・スマイル(JS)、
(株)クルークダイニング(CL)

✓海外カテゴリー

CREATE RESTAURANTS ASIA PTE. LTD.(CRA)、香港創造餐飲管理有限公司(CRHK)、
Il Fornaio (America) LLC(IF)、Create Restaurants DE LLC(WF)



業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]

対前期比で増収増益、四半期の実質営業利益は過去最高、対通期予想も順調に進捗

売上収益 433億円(前期比+15億円)、営業利益 34億円(同+3億円)

親会社の所有者に帰属する当期利益 22億円(同+1億円)、調整後EBITDA76億円(同+1億円)

✓売上収益について

メリハリ消費の「ハレの日」需要を中心に都心の商業施設店舗、「日常」「定番」業態であるベーカリー及びヌードルが好調を維持、3月にM&Aによりグループ入りしたロン社も連結開始し売上貢献

✓利益について(営業利益)

菜菜麻辣湯等の新業態への業態変更と改装を進めるCR社、都心店舗主体で「ハレの日」需要を捉えるCD社が大幅増益、PMI(M&A後の統合プロセス)によるシナジー創出が進むベーカリー及びヌードル各社も着実に利益貢献

(単位:百万円)	2026年2月期 1Q(3月-5月)		2027年2月期 1Q(3月-5月)		対前年 差異
	実績	売上比	実績	売上比	
売上収益	41,814		43,277		+1,463
営業利益	3,048	7.3%	3,378	7.8%	+329
税引前利益	2,992	7.2%	3,221	7.4%	+229
当期利益	2,263	5.4%	2,359	5.5%	+95
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,088	5.0%	2,217	5.1%	+128
調整後EBITDA ※1	7,420	17.7%	7,551	17.4%	+130
実質営業利益 ※2	3,439	8.2%	3,494	8.1%	+54

2027年2月期		進捗率
通期予想	売上比	
171,000		25.3%
9,000	5.3%	37.5%
8,000	4.7%	40.3%
6,000	3.5%	39.3%
5,700	3.3%	38.9%
27,100	15.8%	27.9%
11,000	6.4%	31.8%

※1: 調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

※2: 実質営業利益=営業利益-減損損失-減損損失戻入益等一過性の費用

2. 業績の概要(カテゴリー別)

各カテゴリーに含まれるグループ事業会社は、本資料2ページ下部に記載

✓CRカテゴリー：増収増益

ハレの日需要を取込む都心施設店舗、好調な新業態への業態変更による底上げとコントラクト事業の規模拡大が貢献し増収増益

✓専門ブランドカテゴリー：増収増益

脱食べ放題など業態の構造改革中であるかごの屋の減益があるものの、好調を維持するベーカリーやヌードルがカバーし増益

✓居酒屋(旧SFP)カテゴリー：増収減益

新店と大衆酒場に支えられ増収となるが、磯丸水産を中心に既存店前年割れが響き減益、引き続き本質的な改善に注力

✓海外カテゴリー：増収増益

北米Wildflowerが引き続き好調で全体をけん引、為替影響もプラスに働き増収増益

✓既存店前年比（26年2月期末時点店舗基準、休業店舗含む）

カテゴリー	3月	4月	5月	1Q計 (3-5月)
CR	102.0%	101.6%	109.2%	104.3%
専門ブランド	98.0%	97.5%	103.6%	99.7%
居酒屋	97.9%	98.0%	101.9%	99.3%
海外 (現地通貨)	109.6% (102.6%)	108.5% (99.8%)	110.1% (100.9%)	110.4% (101.3%)
連結	101.3%	100.5%	106.1%	102.8%

(単位:百万円)

カテゴリー	2026年2月期1Q			2027年2月期1Q			対前年差異			対通期予想 進捗率	
	売上収益	カテゴリーCF※1	売上比	売上収益	カテゴリーCF※1	売上比	売上収益	カテゴリーCF※1	売上比	売上収益	カテゴリーCF
CR	14,648	1,710	11.7%	15,221	1,884	12.4%	+572	+174	+0.7%	25.5%	30.0%
専門ブランド	12,785	1,667	13.0%	13,284	1,681	12.7%	+499	+14	△0.4%	25.3%	29.2%
居酒屋(旧SFP)	7,751	765	9.9%	7,962	657	8.3%	+211	△ 107	△1.6%	23.8%	23.1%
海外	6,643	691	10.4%	6,868	731	10.6%	+224	+39	+0.2%	26.8%	27.5%
その他調整等 ※2	△ 14	2,585	-	△ 60	2,596	-	△ 45	+10	-	-	-
合計	41,814	7,420	17.7%	43,277	7,551	17.4%	+1,463	+130	△0.3%	25.3%	27.9%

※1:カテゴリーCF＝営業利益(日本基準)＋減価償却費＋協賛金収入＋非経常的費用項目
※2:IFRS16号(リースのオンバランス)適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等



トピックス

1. M&Aについて① ～シナジーのあるM&A～

超人気店「らぁめん小池」がグループイン、ラーメン事業を更に深化

- ✓ 東京で個性際立つラーメン店10店舗を展開し“**小池グループ**”の愛称でも親しまれる株式会社イノセンスを、株式会社クリエイト・ヌードルズを通じて株式取得することを発表(2026年7月14日開示)
⇒同年9月1日グループイン予定(株主優待:利用の準備が整い次第別途発表)

ミシュランガイド ビブグルマン 選出店舗



2016～
2022年

らぁめん小池(世田谷区)



2019～2022年

中華蕎麦にし乃(文京区)



2021～
2022年

キング製麺
(北区)

◆ つけめん金龍(千代田区)

食べログ ラーメンTOKYO百名店 2021～2023年

- ◆ 伊之瀬(渋谷区)
- ◆ こいけのいえけい(文京区)
- ◆ あいだや(台東区)
- ◆ あいだや2(台東区)
- ◆ 本郷苑(文京区)
- ◆ 釜焼きチャーシュー こじま(豊島区)

株式会社イノセンス

業 態 ラーメン及びつけ麺

店舗数 10店舗

契約日 2026年7月14日

実行日 2026年9月1日(予定)

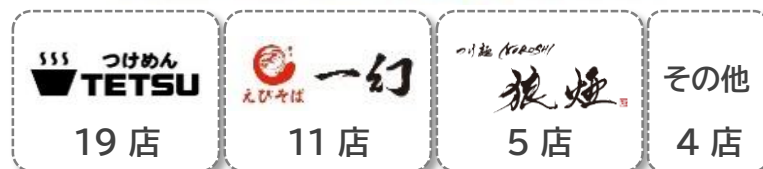
規 模

- ・売上高: 5.6億円
- ・営業利益: 0.4億円 (2025年9月期実績)

狙 い

- ・「日常」「定番」ブランドポートフォリオの更なる強化
- ・他のラーメンブランドとのシナジー創出

CREATE NOODLES



店舗数: 26年5月末現在

16ブランド 49店 (国内外FC店含)

ラーメン事業領域での「マルチブランド・マルチロケーション戦略」で、更なる事業拡大を目指す

1. M&Aについて② ～海外事業の拡大～

「Hazelwood Food+Drink」事業を北米M&A3件目として取得、重要な成長戦略として北米事業を拡大

- ✓ ミネソタ州ミネアポリスを中心に地域密着でモダン・アメリカ料理を提供する「Hazelwood Food + Drink」を主軸とした6店舗のレストラン事業を取得 (2026年6月8日開示)



Create Restaurants MN LLC (取得主体)

業 態 モダン・アメリカ料理「Hazelwood Food + Drink」を中心とした事業

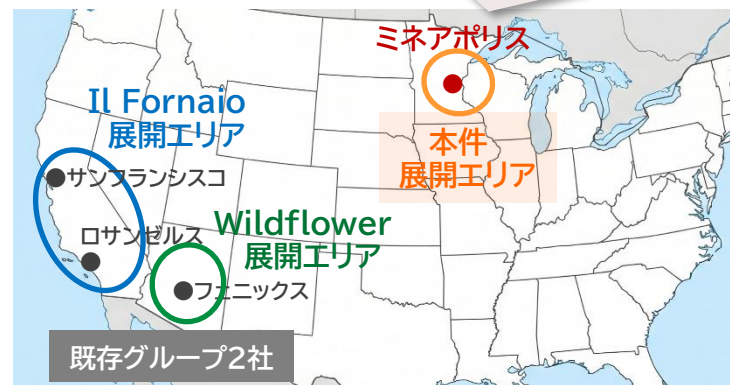
店舗数 6店舗

契約日 2026年6月8日
実行日 2026年7月1日

規 模
・売上高：47.4百万USD(約75.8億円)
・調整後EBITDA：5.6百万USD(約8.9億円)
(対象事業の2025年12月期実績、1USD=160円換算)

狙 い
・北米における事業ポートフォリオの更なる強化

本事業が立地するミネアポリス・セントポール都市圏は、約370万の人口を有する全米でも上位の大都市圏



2. SFPホールディングス社との合併について

- ✓ 2026年5月21日開催の旧SFPHD社株主総会決議を経て、同年7月1日付けで
当社と旧SFPHD社が合併し親子上場を解消済

(合併については2026年4月14日開示)

SFPHD：SFPホールディングス株式会社の略称

目指すべき姿：グループ全体の企業価値向上

成長・ シナジー 加速

- ・経営資源の最適配分(資金・人・情報)
- ・グループのリソース活用による
 - ①居酒屋事業の本質的改善
 - ②SFPブランドの拡大(国内地方、海外)
- ・路面物件情報をヌードル出店に活用

効率化

- ・重複機能集約「HD機能」「インフラ機能」
- ・上場維持コストの削減

人的資本 の活性化

- ・旧SFPHD社人財のキャリアパスの
多様化による専門性の向上
(海外事業、IFRS会計等)

進 捗

当社株主

(旧SFPHD株主含む)

株 主

◆ 旧SFPHD株主は当社株主に

⇒2026年7月1日に旧SFPHD株1株に対し当社株3.2株を割当交付済、「合併に伴う割当株式数のご通知」は同年8月上旬に発送を予定

当社

HD機能

◆ 当社と旧SFPHD社の本社各部門は統合

⇒旧SFPHDオフィスの本社スタッフは今期中に当社オフィスに移動予定、店舗開発部門、経理部門や経営企画部門等は先行して7月に実施

機能 子会社

事業 子会社

(旧SFPHD子会社)
SFPダイニング社
ジョー・スマイル社
クルークダイニング社

事 業

◆ 新体制への移行

⇒旧SFPHD子会社の新経営体制(代表取締役社長)移行(同年7月1日付)

- ・SFPダイニング社 木村 哲博 (旧SFPHD常務取締役)
- ・ジョー・スマイル社 角 明憲 (現任)
- ・クルークダイニング社 飯沼 辰朗 (CR社及びロン社社長兼任)

⇒SFPダイニング社、CMD社及びクリエイティブ・サービス社の本店所在地を当社と同じ東京都品川区に変更

10



2027年2月期業績予想 及び株主還元策

1. 2027年2月期通期業績予想の概要

✓ 2026年4月14日開示の通期業績予想 ⇒ 変更なし

⇒ 今期の北米及び国内のM&A実行はプラスに働くものの、中東情勢の影響によるエネルギーや資材コスト上昇、インフレ加速に伴う実質賃金の伸び悩み等、先行きは依然不透明感が強いいため通期予想は据え置き

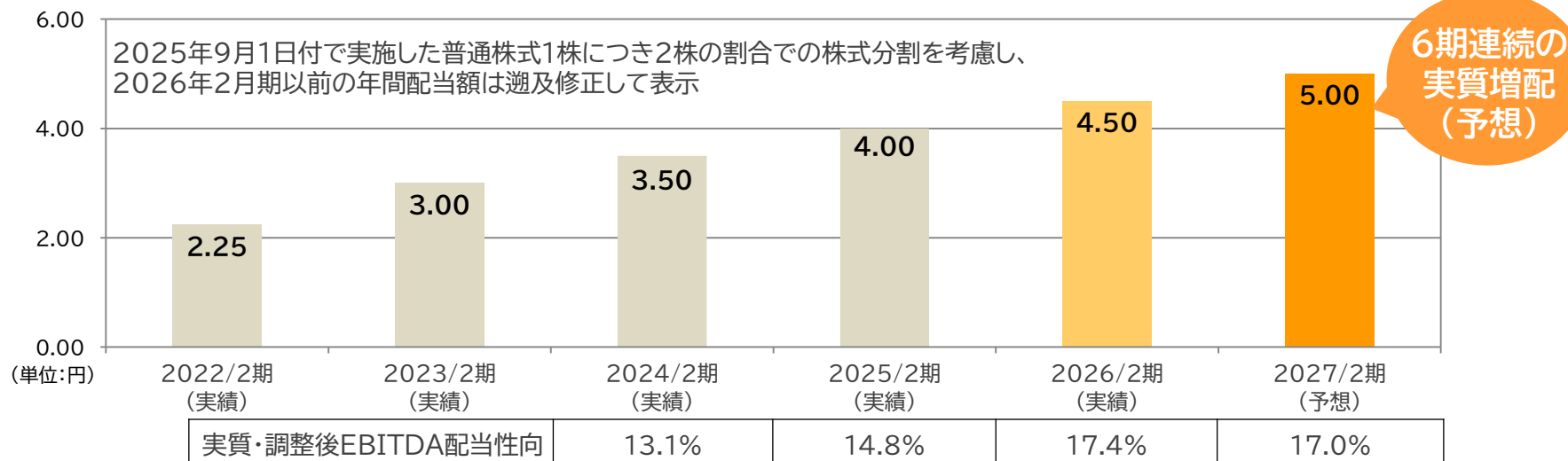
(単位: 百万円)	2027年2月期 (第1四半期実績)		2027年2月期 (通期予想)		進捗率 (対予想)	2026年2月期 (前期実績)		通期予想の 前期差異 (予想-前期)
	実 績	売上比	予 想	売上比		実 績	売上比	
売上収益	43,277		171,000		25.3%	165,449		+5,550
営業利益	3,378	7.8%	9,000	5.3%	37.5%	7,944	4.8%	+1,055
税引前利益	3,221	7.4%	8,000	4.7%	40.3%	7,861	4.8%	+138
当期利益	2,359	5.5%	6,000	3.5%	39.3%	5,218	3.2%	+781
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,217	5.1%	5,700	3.3%	38.9%	4,677	2.8%	+1,022
調整後EBITDA ※1	7,551	17.4%	27,100	15.8%	27.9%	26,271	15.9%	+828
実質営業利益 ※2	3,494	8.1%	11,000	6.4%	31.8%	9,287	5.6%	+1,712

※1: 調整後EBITDA＝営業利益＋その他の営業費用－その他の営業収益(協賛金収入を除く)＋減価償却費＋非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

※2: 実質営業利益＝営業利益－減損損失－減損損失戻入益等一過性の費用

2. 株主還元策

✓2027年2月期の配当予想 ⇒ 変更なし 中間2.50円、期末2.50円 〈年間5.00円〉



配当方針

当社は、株主への利益還元を経営上の重要政策として位置づけ、安定的な配当を行うことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を実施予定

→配当金額は、原則「実質・調整後EBITDA配当性向※」14%以上を目途とし、業績や財務状況、今後の事業展開等を総合勘案した上で決定

※ 実質・調整後EBITDA配当性向(IFRS16号の影響を除く) = 配当金総額 ÷ (調整後EBITDA - IFRS16号のリース負債返済額) × 100

✓株主優待制度 企業方針として重要な株主還元策と位置付け、今後も継続して実施

優待利用可能店舗の拡充 2026年6月以降、以下の12店舗で利用可能に(2026年6月1日及び7月1日開示)

- ◆「 Grill RON」 阪急三番街店、阪神梅田本店
- ◆「大阪トンテキ」 大阪駅前第3ビル店、ホワイトいうめだ店、なんばウォーク店
- ◆「ぶどう亭」「 Grillぶどう亭」「 Grill欧風軒」「 Grillらんぷ亭」「豚々亭」



～コントラクト事業拡大～

- ◆「華蓮」 大阪心斎橋店、博多店





Appendix

1. 出退店及び店舗数について

✓2026年5月末グループ総店舗数： 1,127店

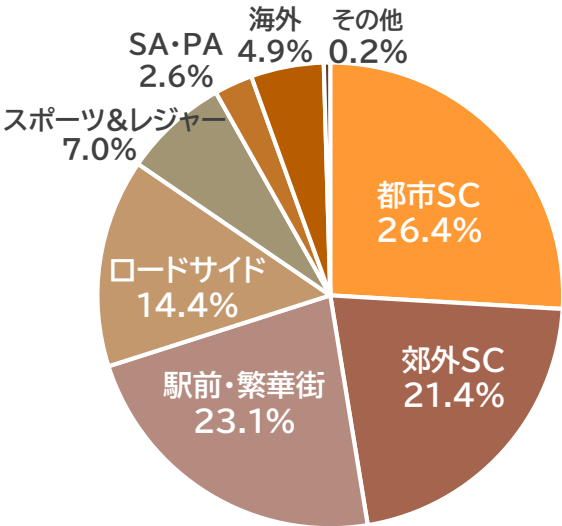
	店舗数	主 な 内 訳
新規出店	8	コアブランド：「五の五」川越、「JEAN FRANÇOIS」登戸、「かごの屋+あずさ珈琲」関西国際空港 新/他ブランド：「狼煙」川越、「ひとにぎり」2店、「まるもん」イオンM大高、「Tecona bagel」大丸梅田
退店	16	(主に契約満了)
M&A	10	ロン：「グリルRON」2店、「大阪トンテキ」3店、「ぶどう亭」、「グリルぶどう亭」、「グリル欧風軒」、「グリルらんぶ亭」、「豚々亭」
業態変更	7	コアブランド：「磯丸酒場」3店、「五の五」町田2号、「鳥平ちゃん」初台南口 新/他ブランド：「菜菜麻辣湯」2店

〔 出退店一覧 〕

カテゴリー	2025年 2月末 店舗数	増減数		M&A	2026年 5月末 店舗数	業態 変更 ※1
		出店	退店			
CR	523	4	11	0	516	2
専門ブランド	335	3	1	10	347	0
居酒屋(旧SFP)	210	1	2	0	209	5
海外※2	57	0	2	0	55	0
グルー ^プ 総店舗数※3	1,125	8	16	10	1,127	7

※1:グループ内における業態変更も含めた店舗数
※2:CD社のジャカルタFC2店、KR社のタイFC4店、CN社の香港FC3店及び台湾FC2店を含む
※3:四半期末での業務受託店舗、FC店舗を含むグループ総店舗数を記載

〔 立地別店舗数の構成比 〕



2. 既存店前年比の推移

各カテゴリーに含まれるグループ事業会社は、本資料2ページ下部に記載

連結

	3月	4月	5月	1Q計 (3-5月)	6月	7月	8月	2Q計 (6-8月)	9月	10月	11月	3Q計 (9-11月)	12月	1月	2月	4Q計 (12-2月)	通期計
2027年2月期	101.3%	100.5%	106.1%	102.8%													
2026年2月期	101.7%	103.2%	104.2%	102.7%	99.9%	100.8%	105.5%	102.3%	98.3%	101.6%	101.8%	100.6%	100.0%	100.7%	98.8%	100.0%	101.8%

カテゴリー別

		3月	4月	5月	1Q計 (3-5月)	6月	7月	8月	2Q計 (6-8月)	9月	10月	11月	3Q計 (9-11月)	12月	1月	2月	4Q計 (12-2月)	通期計
CR	2027年2月期	102.0%	101.6%	109.2%	104.3%													
	2026年2月期	102.5%	104.9%	106.5%	104.6%	101.1%	102.2%	108.5%	104.2%	99.7%	105.0%	105.4%	103.4%	102.9%	102.5%	100.1%	102.1%	103.6%
専門 ブランド	2027年2月期	98.0%	97.5%	103.6%	99.7%													
	2026年2月期	104.2%	105.1%	106.9%	105.4%	102.9%	103.1%	106.4%	104.3%	99.1%	100.7%	103.0%	101.0%	99.9%	101.0%	98.5%	99.9%	102.7%
居酒屋 (IFSFP)	2027年2月期	97.9%	98.0%	101.9%	99.3%													
	2026年2月期	97.3%	100.0%	101.1%	99.5%	96.8%	98.9%	104.2%	100.0%	96.4%	99.0%	98.9%	98.1%	100.5%	99.0%	96.0%	98.7%	99.2%
海外	2027年2月期	109.6%	108.5%	110.1%	110.4%													
	(現地通貨 ^{A*} -入)	(102.6%)	(99.8%)	(100.9%)	(101.3%)													
	2026年2月期	100.6%	100.1%	98.4%	97.7%	96.6%	95.0%	97.2%	97.0%	95.8%	99.1%	94.8%	97.0%	95.1%	98.3%	100.1%	97.9%	99.5%
	(現地通貨 ^{A*} -入)	(100.8%)	(103.1%)	(102.8%)	(102.1%)	(102.0%)	(100.5%)	(101.7%)	(101.6%)	(99.2%)	(102.0%)	(97.1%)	(99.4%)	(97.1%)	(100.0%)	(101.5%)	(99.2%)	(100.8%)

※ 既存店前年比は、26年2月期末時点店舗基準、休業店舗含む

ご注意

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した内容は、資料作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいています。実際の業績等は種々の要因により変化する可能性があり、当社は目標や予想の達成、及び将来の業績を保証または約束するものではありません。なお、これらの情報は予告なしに変更される可能性があります。従いまして、本資料のご利用は、利用者ご自身の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

《IRに関するお問い合わせ先》

IR部

8022@createrestaurants.com